

いちごのおうち 🍓

めろんのおうち 🍉

なかよし園の異年齢保育

つながる あたたかい 気持ち

3歳児:うさぎ組 🐰💛

4歳児:らっこ組 🐼💚

5歳児:きりん組 🦒💙



なかよし園では、3歳以上児が2つのおうち(クラス)に分かれて生活をしています。その中で、異年齢で2~3人のペアがあり、きょうだいのように関わり合いながら生活しています。

登れるようになりたいな…

友だちが土管の上に座って楽しそうに遊んでいる姿を見て、3歳児の子が土管登りに挑戦していました。しかし足を上げて滑ってしまい、うまく登れません。

その様子に気付いた年長児の子が「ここを持って、足をいっぱい上にあげるんだよ。」と、掴みやすい場所や足の上げ方を伝えたり、実際に登って見せたりしていました。

登り方を教えてもらった後も繰り返し登ろうとする姿があり、毎日挑戦していました。すると数日後…

諦めずに何度も土管にしがみ付いているうちに、一人で登れるようになりました！

保育士が「登れたね〜！」と声をかけていると、その声に気付いた友だちが「私も乗れるよ!」「みんなで乗ろう!」と集まってきました。友だちと一緒に土管に座り、登れるようになったことを喜び合っていました。

また、その時の年長児は気付いていなかったため、保育士が「〇〇くん、登れるようになったよ。」と伝えると、土管に座っている友だちを見て「あ、本当だ〜！」と、嬉しそうに笑顔でその様子を見ていました。

生活の中で

おうちのペアの友だちに、手洗いの仕方を教えています。

教えてもらった子は、「ありがとう。」と伝えながら、少しずつ自分でやってみようとしています。



どうしたのかな？

ベランダに座っている2歳児の表情やそれまでの状況を見て、砂場で遊んでいた3歳児が近づいてきました。目の前に座り、靴下を裏返し渡します。

2歳児の子は受け取ると靴下と靴を履き、笑顔で園庭へ駆け出して行きました。

何気ない一場面ですが、2歳児の子の状況に気付き、どうしたらいいのか考え思いに寄り添う姿を見て、自然と行動に移せるあたたかい気持ちが、つながっていることを感じました。

